東京

東京総局
〒100−8077
東京都千代田区
大手町1−7−2
電話 03·3275·8747
FAX 03·5255·6634
shuto@sankei.co.jp
広告 042·525·4138
購読申し込み 0120·70·3034
配達・集金 0120·34·4646
紙面・記事 0570·046460
Web http://www.sankei.com/region/region.html

あすのこよみ

（1日）
旧3月27日
《大安》

月齢	25.8
日出	4：50
日入	18：27
月出	3：07
月入	14：48
満潮	3：16 15：13
干潮	9：20 21：22
中潮	（東京）

2つの移転、テロの魔手、五輪招致、政治とカネ…

30年で知事6人 平成都政史

平成時代、都政は6人の知事の下で30年余りの歴史を刻んできた。都庁舎の移転、東京五輪・パラリンピック招致の失敗と成功、築地から豊洲へ舞台を移した中央卸売市場。オウム真理教事件では、都庁がテロの標的にもなった。平成の都政を年表とともに振り返る。

都政にまつわる平成の主なできごと

平成	元年	4月	「臨海副都心開発事業化計画」がまとめられ、臨海地域の開発が本格化
	3年	4月	西新宿に現在の都庁舎開庁。丸の内から業務を移転 ❶
	5年	8月	レインボーブリッジ開通
		9月	「世界都市博覧会（東京フロンティア）展開計画」決定
	7年	1月	阪神大震災
		3月	地下鉄サリン事件
		5月	都庁郵便物爆発事件 世界都市博覧会の中止を決定
		11月	東京ビッグサイト完成
	12年	8月	三宅島で大規模な噴火
		9月	三宅島、防災関係者を除く全島民に対して島外避難指示発令
		12月	国より厳しい独自のディーゼル規制を柱とする都環境確保条例が成立
	14年	10月	首都圏ディーゼル車規制開始
	17年	2月	三宅島、全島避難指示解除により帰島開始
		4月	都が出資した「新銀行東京」開業 都立の4大学を再編し「首都大学東京」開学 「東京オリンピック招致本部」設置
	18年	10月	在日米軍が航空管制する「横田空域」一部返還合意
	19年	2月	「東京マラソン」初開催 ❷
	20年	6月	2016年夏の五輪・パラリンピック開催立候補都市に決定
	21年	10月	2016年夏の五輪・パラリンピック招致失敗
	22年	10月	羽田空港が新滑走路・国際線ターミナル供用開始
	23年	3月	東日本大震災
		4月	上野動物園でジャイアントパンダのオス「リーリー（力力）」、メスの「シンシン（真真）」公開
		6月	小笠原諸島が世界自然遺産に登録決定
		7月	2020年夏の五輪・パラリンピック開催都市に立候補
	24年	4月	石原氏が尖閣諸島購入を表明し、「都尖閣諸島寄付金口座」を開設
		11月	豊洲新市場の施設計画を発表
	25年	9月	2020年夏の五輪・パラリンピックの開催地に決定
		10月	台風26号の記録的豪雨により伊豆大島で土石流が発生、死者・行方不明者は39人
	27年	3月	ラグビーワールドカップ（W杯）2019開催都市に決定
	28年	4月	2020年東京五輪・パラリンピックのエンブレム決定
		8月	築地市場の豊洲移転延期表明
	29年	6月	上野動物園でジャイアントパンダのメス「シャンシャン（香香）」が誕生 ❸
	30年	10月	築地市場が閉場し、豊洲市場が開場 ❹
令和	元年	9月	ラグビーW杯開幕
	2年	7~9月	2020東京五輪・パラリンピック開幕

※敬称略

歴代知事

鈴木俊一

青島幸男

石原慎太郎

猪瀬直樹

舛添要一

小池百合子

❶

❷

❸

❹

丸の内か新宿か

平成3年、都庁舎はJR有楽町駅近くにあった丸の内庁舎から西新宿に移った。今は新宿を象徴する建築物として多くの観光客が訪れるほど定着したが、移転実現には苦労もあった。

移転を決断・実現した鈴木俊一知事は7年の産経新聞の取材に、都議だけでなく国会議員も巻き込んで丸の内派と新宿派に分かれ、「（調整が）大変だった。部下の副知事にまで『もう一度、考え直されては』なんて言われました」と振り返っている。

もう一つの大事業は、築地から豊洲への中央卸売市場移転だ。老朽化のため昭和時代から新市場の必要性が議論されたが、調整が難航を続けた。石原慎太郎知事時代の13年に豊洲移転が決定。舛添要一知事時代に28年の移転・開場方針を打ち出したものの、同年就任した小池百合子知事が移転延期を表明した。豊洲市場建物地下に盛り土がされていなかった問題や、土壌から有害物質が検出されたこともあったが、紆余（うよ）曲折の末、30年10月、築地閉場と豊洲開場が実現した。

「庁舎が揺れた」

都庁は卑劣なテロの標的にもなった。首都を震撼（しんかん）させたオウム真理教による地下鉄サリン事件から間もない7年5月16日、都庁知事秘書室で、青島幸男知事宛に届いた小包爆弾が爆発。都職員が重傷を負った。新刊書の内部をくりぬいて爆薬と起爆装置を入れ、表紙を開くと爆発する仕掛けだったとされ、当時を知るベテラン職員は「爆発とともに庁舎が揺れた。何が起きたか分からなかった」と証言する。

多彩なトップ

平成の都政は長期政権と短命政権が混在した。

昭和からの4期16年を務めた鈴木氏は、東大卒の中央官僚から副知事経由という行政の〝王道〟の知事。都のOB職員は「官僚機構を知り尽くした行政手腕はさすがだった」と振り返る。都庁移転などの大型事業を次々と進めたが、任期中にバブル経済が崩壊し、都財政は悪化した。

続く青島氏は、一転してタレント出身。臨海副都心地区で開催が予定されていた世界都市博覧会の中止を公約に掲げ、自民党が推薦した候補者に勝利した。公約通り博覧会は中止したが、ほかに目立った施策を打ち出せず、1期満了とともに都庁を去った。

4期13年と、平成時代の半分近くでトップを務めたのが石原氏だ。首都の財政に新たな会計制度を導入し、悪化していた財政の立て直しに奔走した。環境問題にも注力し、国より厳しい独自のディーゼル車規制も打ち出した。ディーゼル車による大気汚染を都民に知らせるため、ペットボトルに入れたすすを記者会見でまいたパフォーマンスは語りぐさとなっている。

領土問題にも乗り出し、中国が領有権を主張する尖閣諸島（沖縄県石垣市）について24年、都が地権者から購入する計画を発表。結果的に尖閣諸島は同年9月、国有化された。ベテラン都議は「国政への影響力やリーダーシップは抜群だった」と石原知事を評価する。

20年には2016年東京五輪・パラリンピック開催地に立候補したが、翌年、リオデジャネイロに敗北。夢は次の知事に託された。

小池劇場、そして

石原氏を継いだ猪瀬直樹知事は、2020年大会の招致に成功したが、知事選で徳洲会から借りた5千万円が選挙の収支報告書に記載されていないことが発覚。都政史上最短の1年余りで舞台から去った。

次の舛添氏は、私的な家族旅行や飲食、美術品購入などの政治資金の不適切使用や高額な海外出張が問題視され、2年余りで退任。政治とカネの問題で追われる短命知事が続いた。

28年8月、政治不信の中で就任した小池氏は、豊洲市場移転延期や五輪費用見直しなどを打ち出し、〝小池劇場〟といわれるブームを生み出した。しかし、「希望の党」による国政挑戦に失敗し、その後の失速感は否めない。

「2代続いて情けない退任が続いた。小池知事には地に足の付いた行政を進めてほしい。そこに持ち前の発信力が加われば、より都政が輝く」（都幹部）。五輪開催を控える中、令和時代のかじ取りが注目されている。

長野パラリンピック観戦中に、ウエーブをされる皇后さまと、見守られる天皇陛下＝平成10年3月、長野市

東京五輪 あと451日

つながったウエーブ

深紅の手袋をした皇后さまが少し照れながら両手を挙げられ、左に座った天皇陛下が笑顔で見守られる―。天皇、皇后両陛下が平成10年、長野パラリンピック競技を観戦中、皇后さまが観客とウエーブをされた瞬間を捉えた写真だ。ご結婚60年に際して調べた過去の写真の中でも、印象に残る1枚だった。

「子供たちが心配そうにこちらを見ておりましたので、どうかしてこれをつなげなければと思い、陛下のお許しをいただいて加わりました」。皇后さまは同年の誕生日に寄せた文書でそう明かされた。何度か両陛下の手前で止まっていたウエーブは、皇后さまの機転で、つながった。

「語らひを重ねゆきつつ気がつきぬわれのこころに開きたる窓」。陛下が婚約内定後に詠まれた歌だ。皇后さまは、陛下の「孤独」を和らげただけでなく、自然な形で国民と触れ合う「象徴天皇像」にも不可欠なご存在だったと思う。被災地で膝をつく慰問のスタイルも、皇后さまがされたことで定着したとみる関係者は少なくない。

2020年東京五輪・パラリンピックは、開会式などで新たに天皇となられる皇太子さまと雅子さまの臨席が予想される。両陛下のときのような〝名場面〟が期待される。（伊藤弘一郎）

路上感撮

おなかの中は…

こいのぼりに食べられちゃった⁉ 東京ミッドタウン（港区）で大型連休中、全長約25㍍、直径約2・5㍍の巨大こいのぼりが展示される。題して「こいのぼりくぐり」。

普段は見上げるこいのぼりの「おなかの中」をくぐり抜けられるイベントに、子供たちも大はしゃぎ。街のにぎわい創出を目的に始まり、今年で3回目。昨年は約4万人が訪れた。

報道陣に事前公開された日も、子供たちがこいのぼりの中を縦横無尽に走り回った。「こいのぼりくぐり」は5月3～6日、午前11時から午後5時まで。雨天・荒天中止。入場無料。

（写真報道局　桐原正道）

大正、創業
昭和、成長
平成、隆盛
令和、未知の領域へ挑戦
OBANAYA CEMENTEX
100
Since 1917

創業時より大切にしてきた
社是『自他祝福』のもと
新しい時代も皆さまにより良い製品・サービスを
お届けできるようチャレンジしてまいります
次の100年も社会に必要とされる会社であるために。
貝化石ミネゲンを開発・販売開始した当時の様子（昭和31年）
セメンテックス事業部 建築・土木構造物の補修材料および補修工法をご提供します。
クリーンアグリ事業部 飼料添加物、畜産機材、環境対策の資材・機材をご提供します。
タンカル・ミネラル事業部 炭酸カルシウム（石灰石粉末）を主体に鉱工品および関連製品をご提供します。
オバナヤ・セメンテックス株式会社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-6 香取ビル TEL.03-3663-7641
当社一押し商品「かため太郎」のYouTube動画公開中!
www.o-cc.com
当社は八重洲に今年3月開館した「杉原千畝Sempo Museum」の協賛企業です
「平成」に感謝申し上げますとともに「令和」の幕開けを心よりお祝い申し上げます

QST 国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
HIMAC 25周年記念講演会
重粒子線がん治療
量子科学技術研究開発機構にて1994年から実施してきました重粒子線がん治療が、本年で25年を迎えます。
臨床試験として開始した治療が、先進医療を経て、一部疾患については保険診療が実現しています。
治療法及び装置の四半世紀のあゆみを皆様と振り返るとともに、当機構が目指す「がん死ゼロ健康長寿社会」に向け、重粒子線がん治療に期待されるものを考える場として講演会を開催致しますので、ぜひご参加ください。
6/5 水 13:00～17:00 東京国際フォーラム ホールB7 東京都千代田区丸の内3-5-1（JR有楽町駅下車）
入場無料 定員1,000名 参加申込が必要です
がん死ゼロ健康長寿社会を目指し HIMACから「量子メス：Quantum Scalpel」へ
＜プログラム＞
● 講演「重粒子線がん治療25年のあゆみ」
・「量子メス：Quantum Scalpel がん死ゼロ健康長寿社会実現に向けて～量研の戦略～」 平野 俊夫：量子科学技術研究開発機構理事長
・「世界のHIMAC25年のあゆみ」 辻井 博彦：量子科学技術研究開発機構QST病院副病院長
・「臨床試験から保険収載まで」 辻 比呂志：量子科学技術研究開発機構QST病院病院長
● 特別講演「高齢社会をイキイキと生きる」 垣添 忠生：日本対がん協会会長
● パネル討論「がん死ゼロに向けて重粒子線治療に期待するもの」
鎌田 正：神奈川県立がんセンター重粒子線治療センター長
中川原 章：佐賀国際重粒子線がん治療財団理事長
高橋 真理子：朝日新聞科学コーディネータ
鈴木 康裕：厚生労働省医務技監
田倉 智之：東京大学大学院医学系研究科特任教授
坂下 千瑞子：東京医科歯科大学特任助教
参加申込はWEB又はFAXで www.himac25.com FAX 03-6715-5120 ※定員になり次第、締切らせていただきます。
お問い合わせ （株）テストイベント企画HIMAC25周年記念講演会運営事務局 TEL:03-6715-4717 info-main@himac25.com
主催：国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構（QST） 後援（順不同）：文部科学省 厚生労働省 千葉県 千葉市 日本医療研究開発機構 日本放射線腫瘍学会 日本医学放射線学会 日本核医学会 日本加速器学会 日本原子力学会 日本物理学会 日本放射線影響学会 日本診療放射線技師会 日本放射線技術学会 日本医学物理学会 PanCAN Japan 日本対がん協会

戸建もマンションもリフォームするなら
住友不動産の新築そっくりさん

購読のお申し込み　0120・70・3034
https://reader.sankei.co.jp/reader/
配達・集金などのお問い合わせ　0120・34・4646
紙面・記事へのご意見・ご質問　0570・046460
（平日10時～17時、土・日・祝日休み）
u-service@sankei.co.jp
産経ニュース　https://www.sankei.com

平成31年（2019）日刊27410号
4｜30［火］
譲位の日
産業経済新聞（サンケイ）
THE SANKEI SHIMBUN
発行所　©産業経済新聞東京本社2019
〒100－8077東京都千代田区大手町1-7-2
東京（03）3231-7111（大代表）
産經新聞

朝の詩

寝顔

岐阜県八百津町
細江　美幸　37

子ども達の寝顔
いくつになっても
天使のまま。
起きだしご飯の用意
2人にはあと30分
天使でいてもらう
キャベツをきざむ音
冷蔵庫をあける音にも
反応せずねむる子ら
すやすやと寝息をたて
布団にくるまる。
さあ　起こす時間だ
キスか布団を剥がすか
迷う私の前に寝顔。

（選者　八木幹夫）

想いを築く。心に響く。
髙松建設
TakaMatsu
詳しくは　髙松建設　検索
0120-53-8101

天皇陛下 きょう譲位

退位の礼で最後のお言葉

天皇陛下は30日、譲位の日を迎えられる。天皇の譲位は江戸時代の光格天皇以来202年ぶりで、憲政史上初めて。陛下は同日午後5時から、皇居・宮殿で「退位礼正殿の儀」（退位の礼）に臨み、在位中、最後となるお言葉を述べられる。陛下は同日をもって譲位し、30年余り続いた「平成」は幕を閉じる。5月1日午前0時に皇太子さまが即位されて「令和」に改元される。

4月30日の退位の礼は、計11に上る譲位関連の最後の儀式。憲法で定める国事行為として執り行われる。天皇、皇后両陛下が宮殿「松の間」に入室され、側近が「三種の神器」のうち剣と璽（勾玉）などを「案」と呼ばれる台の上に安置。安倍晋三首相が感謝の意を伝え、陛下が国民に向けたお言葉を述べられる。退位の礼の参列予定者は安倍首相と閣僚、衆参両院正副議長、都道府県知事ら約300人。皇太子ご夫妻、秋篠宮ご夫妻をはじめ、成年皇族方が陪席される。

両陛下は退位の礼の後、皇太子ご夫妻や皇族方のごあいさつを受けられる。その後も宮内庁や皇宮警察の職員らのあいさつが夜まで続き、平成最後の日を終えられる。

退位の礼に先立ち、陛下は30日午前、皇居・宮中三殿で同日の譲位を報告される。天皇のみが着る祭儀の正装「黄櫨染御袍」を身につけられる最後の機会となる。5月1日に上皇、上皇后となる両陛下は、同日以降の皇太子さまのご即位関連儀式には出席されない。

皇室関連
象徴　次代へ～両陛下の願い　3面
訪問された国内各地　10、11面
海外36カ国で親善増進　12面
両陛下のご発言　16、17面
皇后さまのご活動　18面
元側近が語る象徴のお姿　27面

譲位　祝賀ムードに包まれ

天皇陛下が譲位の意向をにじませられた平成28年8月のビデオメッセージの公表から2年8カ月余。昭和天皇の崩御という悲しみの中で始まった「平成」とは異なり、今回は代替わり前に平成の総括をしたり、国民が天皇、皇后両陛下に直接、感謝を表したりすることができた。祝賀ムードで時代の幕開けを迎えることは、譲位の利点の一つといえそうだ。

両陛下は譲位関連儀式として、3月に神武天皇陵（奈良県橿原市）、今月は伊勢神宮（三重県伊勢市）と昭和天皇の武蔵野陵（東京都八王子市）をご参拝。沿道では多くの国民が人垣を作って出迎えた。陛下は2月の在位30年記念式典で国民へ謝意を伝えられたが、宮内庁幹部は「各地への参拝は、陛下のお言葉に対し、国民が感謝を示す場ともなった」と振り返る。

29年6月に譲位を可能とする特例法が成立。政府・宮内庁はそれぞれ式典委員会、大礼委員会を立ち上げるなど代替わりの準備を進めた。儀式に関わる宮内庁職員の一人は「水面下での準備を要した昭和とは全く状況が異なる」と明かす。

皇太子さまも、万全の態勢で即位の日を迎えられる。25日には、儀式の事前準備のために皇居をご訪問。宮殿で所作などの確認を行われた。「これからのことを思うと、とても厳粛な気持ちになります」。今年2月の誕生日会見では、即位を控えた心境を問う質問にこう述べられた。次期天皇による儀式の準備や、即位前の心境ご表明は昭和時代にはなかったものだ。

昭和天皇が病床に伏した昭和最後の日々と平成の幕開けは、行事やテレビのバラエティー番組などが自粛されたが、今回は各メディアが両陛下のお歩みにとどまらず、あらゆる角度から平成を総括して祝賀ムードを演出する。

代替わりにまつわる主な動き

平成

令和

	日付	時刻	内容
平成	4月30日	午前10時	「退位礼当日賢所大前の儀」「退位礼当日皇霊殿神殿に奉告の儀」天皇陛下が皇居・宮中三殿に譲位をご報告
		午後5時	「退位礼正殿の儀」陛下が国民に向け、最後のお言葉を述べられる
令和	5月1日	午前0時	皇太子さまが第126代天皇にご即位　「令和」に改元
		10時半	「剣璽等承継の儀」三種の神器などを受け継がれる
		11時10分	「即位後朝見の儀」国民の代表に即位後初めて面会される。初めてのお言葉

WTO改革 各国支持

首相帰国　大阪G20へ地ならし

安倍晋三首相は29日、欧米歴訪を終え政府専用機で羽田空港に帰国した。各国首脳との会談で、6月に大阪市で開かれる20カ国・地域（G20）首脳会議（サミット）の議長国として、協力を要請した。特に、世界貿易機関（WTO）の紛争処理のあり方をめぐり、韓国による水産物輸入制限措置に対しWTOに異議を唱えた日本の立場について、各国首脳から支持を得た意義は大きい。G20サミットでWTO改革に向けた合意形成の追い風になる。

安倍晋三首相

安倍首相は最後の訪問国となったカナダの首都オタワで28日午前（日本時間28日午後）、トルドー首相と会談し、韓国の制限に対するWTOの判断に抗議したことを説明。トルドー首相は「問題意識を共有する」と支持を表明した。

会談では、北朝鮮の非核化と拉致問題の早期解決に向けて緊密に連携する方針を確認。G20サミットでは自由貿易推進や女性活躍、海洋プラスチックごみ対策などで協力していくことも合意した。

安倍首相は会談後の共同記者会見で「紛争解決が機能するよう改革することが不可欠だ。WTO加盟国からも判断の妥当性を問題視する声があがっている。G20各国と建設的に議論していきたい」と述べた。26日にジュネーブで開かれたWTO会合で「1審」の紛争処理小委員会が日本の主張をおおむね認めたのに、上級委員会が覆したことに各国から疑問の声が相次いだことを踏まえた発言だ。

安倍首相は26日のトランプ米大統領との日米首脳会談で、WTO改革へ日米が連携していくことで一致。25日の欧州連合（EU）との会談では、ユンケル欧州委員長が「公的な助成金や強制的な技術移転はルールがあるべきだ」と語った。自由貿易体制を率いる日米欧がWTO改革で足並みをそろえた形だ。

WTO改革は、紛争解決の要とされる上級委員会の機能回復と同時に、米国の保護主義的な動きや、知的財産の強制移転や政府補助金など中国に是正を促す意味を持つ。米中両国と良好な関係を持つ安倍首相だからこそ、米中対立に歯止めをかける役割を期待されているといえる。

（小川真由美）

平成の終わりに

真直なる天皇の大きなる道

平川　祐弘
東京大学名誉教授

新天皇の即位を祝し、天皇家のお歌を掲げ、皇室の弥栄を祈らせていただく。

さしのぼる朝日のごとくさはやかにもたまほしきは心なりけり

明治天皇は人はいかに生きるべきか、心がけをうたわれた。お歌は天皇様はじめだれしもがそうありたいと願う気持である。

外国は日本を the Rising Sun 旭日の国と呼んだ。和歌をよみ心が動くほどの人は日本の民である。一国語、一歴史の民族の間では歌を介して心が通う。私ども昭和一桁世代は小学校で明治天皇御製をお習いした。

あさみどり澄みわたりたる大空の廣きをおのが心ともがな

これが神道の訓えと私が気づいたのはだいぶ後である。自覚が遅れたのは、敗戦後、占領軍総司令部の否定的な神道解釈の下で教育された私たちは、自国の過去に背を向けがちだったからだ。神道には経典もない。他の一神教と違い「スルナカレ」式の戒めはない。だがお歌には人の人たるべき道がゆったりと示される。清く明るい審美感こそ神道の倫理感なのだ。

明治天皇は、祖神を伊勢神宮に祀る神道のまつりごとこそ天皇家の大切なお務めと考えられた。国を挙げて西洋化（近代化）につとめた治世の末つ方、明治四十三年に詠まれた。

わがくには神のすゑなり神まつる昔のてぶりわするなよゆめ

近代史を通じ政治に近く位置した天皇は睦仁陛下だが、日本の宗教文化の伝統を守る旨あらためて強調されたのである。

天皇が権力者ではないのに権威があるのは、神道を介して国民の上の座、すなわちカミの座を世襲的に継がれるから、それで国民と天皇は祈りを通して結ばれるので、その国柄を英語でコンスティチューションと呼ぶと渡部昇一教授は説明したが、その国柄が日本のナショナル・アイデンティティーと私は考える。

紙に書かれた舶来の憲法と違い、これは遥か以前から日本の歴史に深く根ざしている。美智子陛下も入内され、時を経てから、祈ることの意味を語られた。この祈りとは、政教分離の「教」以前の広義の宗教行為で、他の宗教と共存する。

一神教でない神道に絶対神はおらず、天皇はゴッドの意味での神でない。また中・独・露のカイザーやツァーの意味での皇帝でもない。天皇は命令しない。国民とともに祈り、ともに人の道を守り、それを誓う。「朕ハ爾臣民ト倶ニ拳拳服膺」すると私が習った勅語の言葉にあった。わが国では上に立つ陛下も、自分に到達し得ない天を畏れ、自ら慎む。目に見えぬ上なる尊いものに対し、私共とともに謙虚に頭を垂れる。

天皇のお務めはなによりも祈ることと続くことにある。天皇家が民族の永生の象徴であるのは「祈る」ことにより「続く」からである。陛下はこの国の死んだ人と生きている人との統合の象徴で、万世一系の天皇を戴くことで、日本人は民族の命の永続性を感得する。

我が国は敗北はしたが、国体は護持した。誇るべきことである。神武天皇以来の歴史に比べ、戦後七十余年は短い一時期に過ぎない。宮中祭祀がつつがなく続くことを切に願う。

とこしへに民やすかれといのるなるわがよをまもれ伊勢のおほかみ

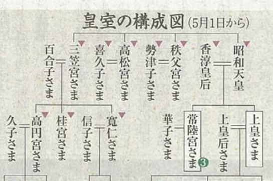
明治天皇はこう祈願された。平成の陛下も即位の後、緑したたる大和島根の伝統護持のお気持をこう自然に託して歌われた。

いにしへの人も守り来し日の本の森の栄えを共に願はむ

新天皇が「御祖みな歩み給ひし真直なる大きなる道」を進まれることを寿ぎ、この御代替わりにあたり一人の民として謹みて祝意を述べさせていただく。

◇おことわり　天皇陛下が4月30日、「退位礼正殿の儀」に臨まれ、譲位します。譲位は江戸時代の光格天皇以来、約200年ぶり。天皇陛下が上皇になられ、皇太子徳仁親王殿下が5月1日に第126代天皇に即位されます。これに伴い、皇室の方々の呼称を変更いたします。皇太子さまは「天皇陛下」▽皇太子妃雅子さまは「皇后さま」▽天皇陛下は「上皇さま」▽皇后陛下は「上皇后さま」▽秋篠宮さまは「皇嗣秋篠宮さま」ですが、場合により「秋篠宮さま」となります。

皇室の構成図（5月1日から）



▼は崩御もしくは薨去された方
○は結婚に伴い皇籍離脱
●数字は皇位継承順位

スマートフォンで左のマークのある写真を「メディアトリガーplus」でチェックしてみて下さい（一部対応できない機種があります）。ダウンロードサイトはこちら→

きょうの紙面

恩師へ最後の手紙　27

スペイン総選挙　極右躍進　2、6
働き方改革　模索する企業　3
紙面で振り返る「平成史」　14、15
悠仁さまの机に刃物　男逮捕　27
正論　「令和の課題」克服し平和永続を　中西輝政氏　8
国際　6　囲碁・将棋　21
オピニオン　8　スポーツ　21、22
生活　20　BS・CS・ラジオ　23

◇おことわり　「話の肖像画」「経済」「文化」面は休みます。

4910851013097 00102

朝晴れエッセー　小さな騎士と泣き虫母さん

2019.4.30

「今朝も母さんの目、一重度120%やな！」と、朝一番でもバッチリ二重まぶたの息子がケラケラと笑いながら言う。これはよくある朝の光景だ。「記録やわ、またきのうの夜もパパのことを思い出して大泣きしてん」と私。

この「パパ」とは、16年前に急逝した私の夫、息子の父のことである。息子は当時1歳8カ月であったので、一度も「パパ」と呼びかけたことはない。だからか、私たち2人の間では「パパ」と呼んでいた。

私はもともと泣き虫なのだが、夫が亡くなってからさらにひどくなり、これまで1日も欠かさず涙する毎日だった。息子には隠れて泣いていたのだが、ある日見つかってしまう。3歳の時、はっと振り返るとティッシュの箱を持つ息子が立っていた。

それから息子には「泣き虫母さん」として心配をかけてきた。大きくなるにつれ、さらに息子は私のことを精神的に支えてくれるようになる。本当に頭が上がらない。

「ちょっと、どうしようか迷っていて…」と私。「それやったら、前に進む方を選んだら?」と息子。もう、どっちが親かわからない。

そんな息子も、高校を卒業し、4月から大学生になった。ますます頼もしくなった背中がまぶしい。夫はどんな気持ちで天国から見つめているだろうか。息子はちゃんと大きくなったよ！　心配しないでね！　と考えながら、また涙が止まらなくなる私であった。

本田文子（49）　兵庫県尼崎市

26面に募集要項

きょうの天気

	降水確率	予想気温（最高）	予想気温（最低）
東京	80	15	13
札幌	50	19	11
仙台	80	14	11
宇都宮	80	16	11
水戸	80	16	12
前橋	80	16	11
さいたま	80	16	12
千葉	80	16	13
横浜	80	17	13
新潟	60	19	13
長野	50	18	12
甲府	80	17	11
静岡	90	17	13
大阪	60	23	15
福岡	60	20	16

6時　9　12　15　18　21　24
5ミリ未満　5ミリ以上　降水確率　予想気温（最高）（最低）

週間天気26面

ひなちゃんの日常
引っ越しました

26面

スマホを産経抄ロゴにかざすと朗読が聴けます。「産経新聞」の題字には福島「三春滝桜」平成最後のライトアップの動画と今日の星占い。

スポーツにinゼリー
ENERGY in 10秒チャージ
森永製菓株式会社

産經抄

平成の終わりにあたり、何か感動的な話や気の利いた文句を書こうとパソコンの前に座ったが、何も浮かんでこない。記者としてお恥ずかしい限りだが、平常運転で出発進行するとしよう▼恥ずかしい話をもうひとつ書く。3年前の7月13日午後7時のNHKニュースは、終生忘れないだろう。天皇陛下が譲位の気持ちを伝えられた、という大スクープが報じられたのだが、宴席中だった小欄の赤い顔は、たちまち真っ青になった（同席した酔客の話だから当てにならぬが）▼記者というのは因果な商売で、ごくまれに特ダネを書いてもすぐ忘れるが、他社にすっぱ抜かれると夢にまで出てくる。陛下が江戸時代にまで遡らねば例のない譲位をされる決意を、かなり以前から固められていようとは、まったく思いもよらなかった▼憲法にも皇室典範にも規定のない譲位という超難問をどうやって実現させるのか。その点、日本の官僚はまだまだ優秀である。特例法という技で、うるさ型の多い議員さんたちを黙らせ、細かい事務手続きをこなしていった。これほど穏やかに、御代替わりを迎えようとは3年前には想像すらできなかった▼それもこれも両陛下が長きにわたって積み重ねられた徳のなせるわざである。東日本大震災や阪神大震災の被災者のみならず、弱い立場に置かれた人々と同じ視線で語りかけられる姿に、どれだけの日本人が涙したことか▼人生100歳時代とはいっても、元気なうちに区切りをつけ、道を譲ることが国の弥栄となる。陛下のご決断は、超高齢化社会を迎える令和時代へ向けたお手本でもある。これまでの両陛下のご献身に感謝しつつ、こよいは温燗で静かに乾杯したい。さらば、平成。また会う日まで。

2019.4.30